

# わんにゃん通信

H27.10月号

食欲の秋ですね！食べ物のおいしい時期なのでつい食べ過ぎてしまうことが多いような・・・

太らないようにとお腹を壊さないようにと気をつけたい今日このごろです。

さて、今回はお腹の中に寄生する虫たちについてです

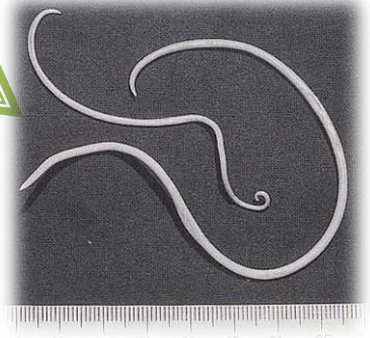


## 回虫



**感染経路** 虫卵が口の中に入る**経口感染**、母犬(猫)の胎盤や乳汁から幼犬(猫)感染する**胎盤感染**、**経乳感染**。また、**幼虫を体内にもつねずみを食べる**ことにより感染します

**症状** 成犬の場合はほぼ無症状のことが多く、幼犬に感染すると下痢や嘔吐、発育不良などの症状があり、多数寄生されると虫体が小腸に詰まり腸閉塞の原因になることもあります。



## 鉤虫



**感染経路** 幼虫が口の中に入る**経口感染**、皮膚に穴を開けて体内に入る**経皮感染**、母犬(猫)の胎盤や乳汁から幼犬(猫)から感染する**胎盤感染**、**経乳感染**があります。

**症状** 黒っぽい下痢、貧血などがあります。吸血性寄生虫なので、大量に寄生されると生後間もない幼犬は貧血により命に関わることも。



小腸に寄生し、粘膜に噛みついて吸血します

# 鞭虫

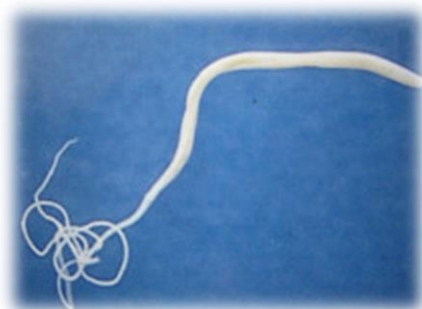


## 感染経路

感染した犬の便と共に排泄された虫卵が何かの拍子で口に入ることにより感染します  
虫卵が混じった水たまりを舐める、体についた虫卵をグルーミングで飲み込む etc

## 症状

粘膜や血の混じった下痢を少量ずつ何度もするようになります。  
また、吸血性寄生虫なので大量に寄生されると貧血することもある。



大腸に寄生し、吸血します

# カンザシ線虫



## 感染経路

幼虫が潜んでいるカエルや蛇を食べることによって感染します。

## 症状

下痢、粘膜便、血便などがあります。  
数 cm～数十 cm の長さで排出されることが多く、ときおり肛門にぶらさがった状態で見つかることも



平べったい形をしており、長いものでは 1m にも達する

# 瓜実条虫



## 感染経路

幼虫が潜んでいるノミをグルーミングなどで取り込むことにより感染します。

## 症状

ほとんどは無症状ですが、多数の寄生がある場合激しい下痢や、体重減少がみられます。  
また腸管内で切り離された米粒のような虫体の一部（片節）が肛門から排泄されることがあります。



お尻や便に米粒のようなもの・がついていたらこの虫かも・・・



便に症状がある、便に虫がいた場合は診察の際にその子の便も一緒に持ってこられてください。  
また、人にも感染することがあるので犬や猫と遊んだあとはしっかり手を洗いましょう。